

平成25年度 栃高教研情報教育部会中部支部会 報告

1. 日時 平成25年10月17日(木) 13:30~15:30

2. 会場 栃木県立宇都宮北高等学校 会議室

3. 参加学校及び人数 16校 17名

4. 次第(会議内容)

(1) 開会

(2) 支部会役員あいさつ

(3) 情報教育部会役員あいさつ

(4) 議事 議長(司会・進行) 宇清高 記録 宇北高

1) 支部会について

・役割等について確認した。

2) 支部役員について

・選出方法(持ち回り)、および業務内容等について確認した。

来年度の役員は宇女高・宇中女高である。

3) 情報教育部会総会および研究大会について

11月28日(木)開催の総会・研究大会について案内をした。

4) ウェブページへの教材アップロードについて

教材提供について依頼した。

5) 情報交換

教科「情報」の授業の現状について各校から報告があった。

i) 授業担当者について (○はまとめ ・は各校からの報告)

○普通科の高校においては、他教科の教員が臨時免許状により授業を実施している。(本日の参加者の主教科は地歴・公民、数学、理科、芸術、家庭)

○それぞれの学校の事情で、担当する教科が決まっている。各教科の単位数が少ない教科が担当する場合が多い。

○職業系の高校では、それぞれの科の専門科目を読み替えて実施しており、専門学科の教員が担当している。

・担当する教科内で、なかなか担当者が決まらないことがある。

・年度によって、担当する教科が異なる。

・どの教員が担当しても、授業が実施できるように、指導案や教材の扱いなどのノウハウを蓄積し実施している。そのため教員の中で、情報の授業を担当することに対する抵抗が少ない。

ii) 成績評価に関すること

○各校工夫して行っている。

・定期テストを期末と学年末で評価している。内容は、教科書の重要箇所を問う問題である。

・テストと課題(レポート)で評価している。

・担当者により評価基準が異なる場合がある。

・プレゼンテーションなど実技を評価している。

・定期テストと実技テストで評価している。

iii) 授業内容について・授業を行って気がついたところ

○各校工夫して行っている。「ワード」、「エクセル」、「パワーポイント」の習得を目的とした

実習を行っている学校が多い。

- ・学期によって座学と実技を分けて行っている。
- ・学校の特色に合わせて、学校設定科目で、プレゼンテーション技術の習得を目的として実施している。
- ・プレゼンテーションに力を入れている。
- ・各種検定に向けての実習に重点を置いている（特に職業系の高校）。
- ・修学旅行や進路研究の調べ学習を取り入れている。
- ・教科書に沿った内容を扱っている。
- ・コンピュータの台数が不足して実習に不便である。
- ・新旧教育課程が混在し、複数学年がコンピューター室を使用するため、実習時間が不足している。そのため座学の授業に苦勞している。
- ・パソコンの不具合が多く故障すると授業に不都合が生じる。
- ・生徒の技術の差が大きく指導が難しい。
- ・「ワード」や「エクセル」は中学校のときにやっていた生徒がいたが、「エクセル」を扱える生徒は少ない。
- ・以前と比較して、中学時代から「パワーポイント」に慣れた生徒が増えている。
- ・生徒は実習を楽しくやっている。

iv) 学校が抱える課題と対応策

○「ライン」や「ツイッター」などのSNSにかかわる問題が多く学校の学校でみられる。

- ・「ライン」によるいじめ、誹謗中傷、なりすまし等がある。
- ・情報モラルに力を入れる必要がある。
- ・教員、保護者よりも、生徒の方がSNSについてははるかに知識がある。教員や保護者への啓発が必要である。
- ・知識があるといっても、生徒にも誤った知識や知識が足りない部分が多くあり、しっかりとした教育が必要である。
- ・外部講師を招き、啓発活動を行っている。
- ・SNSは大変便利なものである。問題は使い方である。

v) 校務の情報処理に関すること その他

- ・少ない数の教員でやっているのが大変である。
- ・前任者が作成したマクロを扱うことが難しい。
- ・特定の教員に仕事が集中する。

(5) 閉会

以上、報告いたします。報告担当 宇北高